

自分の考えを文法的な間違いを恐れずに

表現することのできる生徒の育成

—ICT を活用した、継続的な新出文法を身につけるための取り組み
を通して—

教育実践高度化専攻 教科指導重点コース 言語・社会科学系（英語）

早川 幸希

本研究実践では、中学校英語科において、自分の考えを文法的な間違いを恐れずに表現することのできる生徒の育成を目指した。そのために、ICT を活用した文法指導や自己表現を行うという手立てを用いた。研究仮説を、「ICT 機器を活用して新出文法の導入や練習、復習を行うことによって、その意味、形式、使用場面を理解することができる」とし、手立てとして、「プレゼンテーションスライドを活用した文法の導入と復習」「タブレットを活用した復習」「自己表現」を行った。研究仮説を検証するため、実践後に行った5件法による選択式アンケートと記述式アンケート、単元末のパフォーマンス課題において生徒が書いた英文について、分析及び考察を行った。これらの結果から、ICT を活用して新出文法の学習をすることによって、生徒は新出文法の理解を深めることができたり、学習への意欲を高めることができたりし、ICT を活用した文法指導の部分的な効果が見られた。